

【お知らせ】2020 年度新規に保険適応されたロボット支援手術のプロクターについて

4 月より肺悪性腫瘍に対するロボット支援下区域切除と重症筋無力症に対する拡大胸腺摘出術が保険適用追加になります。これらの術式に関して、初めて経験する施設においてプロクターを必要とするかどうかについて、日本呼吸器外科学会ロボット手術検討部会で検討した結果、プロクターは不要としました。

詳細は以下をご参照ください。

1) 区域切除の施設基準は、肺葉切除と同じある。従って、肺区域切除を新たに開始する場合、すでにロボット支援下肺葉切除の経験があれば、プロクターは不要とする。ただし、施設内で、プロクターを必要とすると決定された場合は、従うこと。

(理由)

- ・呼吸器外科ロボット手術のプロクターは、術式別ではなく、プロクターによっては術式経験に大きな偏りがある。ましてや、区域切除はこれまで保険術式ではなかったため、経験者は少数であり、プロクターできる人は限られていること。
- ・区域切除は肺葉切除と同じセットアップであり、区域切除を胸腔鏡、開胸で十分経験していれば、手術は可能であること。

2) 重症筋無力症に対する拡大胸腺摘出術を新規に開始する場合は、すでにロボット支援下胸腺摘出術の経験があれば、プロクターは不要とする。ただし、施設内で、プロクターを必要とすると決定された場合は、従うこと。また、施設基準は”当該保険医療機関で、胸腺関連疾患に係る手術を年間5例以上施行しており、そのうち胸腔鏡下手術または当該手術を3例以上経験していることと”となっており、この基準を満たしていないと保険は適応されない。

(理由)

- ・拡大胸腺摘出術のセットアップは胸腺摘出術と同じである。
- ・肺葉切除に比較して、これまで安全に施行できている。